

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年9月29日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大山崎ライブラリーフレンズ	代表者名	古川佐季子
担当者部署	事務局	連絡先電話番号	070-6998-3649
担当者役職		担当者氏名	
住所	618-0091 京都府大山崎町大山崎上ノ田1-45		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	大山崎町	連絡先部署	大山崎町役場 総務部政策総務課企画観光係
担当者氏名		連絡先電話番号	075-956-2101
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡本 真
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	今後の図書環境向上にむけ、どのような取り組みをおこなうべきなのか、道筋が示された。参加者がそのために積極的に活動しようと勇気付けられた。
アドバイザーへの要望事項	とくになし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年9月23日	12時00分	16時00分	15	225
3-2. 派遣場所	会場名	洛和ヴィラ天王山		最寄駅	JR大山崎
	所在地	京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字松原36-6			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	一般	40人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	全国の図書環境についての先進事例を話題提供したり、効果的なワークショップを行うことができる人材がおらず、図書政策について全町的な議論が行われていない。そのため、図書室が十分に活用されていない状況にある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	岡本氏の講演会・ワークショップで町民・行政の図書館への関心を高め、町全体の図書環境充実への機運を高める。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	第2日目でおこなったワークショップの内容をまとめることで、現在の図書室を十分に活用し、その上で不足することを新しい図書館で解消する必要があること、それを町民全体で共有することが必要と助言をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	この間の講演・ワークショップに参加し、図書環境向上に興味・関心をもった人たちと、次回ミーティングをもち、図書室を具体的に活用する方法を考えていくことが確認された。今後の活動の道筋がつけられた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	図書室の活用について、経験のない分野であり、手探りでの挑戦になる。今後、みんなで知恵を出し合いながら取り組みたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 前回のワークショップの参加者と重複する人が多く、アンケートは実施しなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	大山崎町の図書環境を向上させる。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

